

13 潤滑

ボールねじには、使用環境、条件に合わせて定期的にグリース又はオイルを補給する必要があります。
SBC ボールねじにはグリース潤滑の場合、リチウム石けん基系の JIS ちょう度 2 ～ 3 のグリースを推奨します。
オイル潤滑の場合は、ISOVG32 ～ 68 を推奨します。

潤滑剤の点検と補給時間

潤滑種類	点検間隔	点検項目	交換間隔
グリス	3～6ヵ月	汚れ、異物混入等	通常1年
オイル	毎日始業前	油面管理	消耗量により適宜

軸径による潤滑量

軸径	潤滑量 (CC)
16～25	0.1/3分
32～40	0.2/3分
50～60	0.4/3分

14 防塵 / 防錆

● 防塵

ボールねじは、ナット内に異物が混入すると早期に摩耗が進行したり、循環部が破損する場合があります。
異物が多い環境ではジャバラを使用してボールねじ全体をカバーすることで防塵効果を高めることができます。

● 防錆（表面処理）

SBC ボールねじは、2 種類の表面処理が施せます。

低温クロームメッキ（レイデント相当）

防錆、耐食性を向上させるための電解防錆被膜の黒メッキ処理です。

フッ化低温クロームメッキ（フッ化レイデント相当）

低温クロームメッキ処理後、フッ素でコーティング処理を施しているため、水、塩水に強く、
高耐食性が得られます。